



## 帯状疱疹とは？

帯状疱疹は、水痘・帯状疱疹ウイルスといわれるウイルスが原因で発症する病気です。幼少期に、水ぼうそう（水痘）にかかったことのある方は、すでに水痘

最初に痛みがあり、顔・体・四肢どこかの場所に右か左の半分に水ぶくれを伴った赤い発疹が帯状に出てくる病気で、

・帯状疱疹ウイルスに対する免疫を獲得しています。それと同時に、症状のない今もウイルスは、脊髄に近い神経節で実は眠っています。

ピリピリとした特徴的な痛みはもちろん、目の近くにでると視力障害、最悪の場合、失明することもあり、耳にでると顔面神経麻痺などが起こることがあり、この場合は、入院治療が必要となることもあります。

私たちが、年齢やストレス、疲れなどによって免疫力の低下した時に、ウイルスが再び活性化して皮膚の発赤や痛みなどの症状として出現します。

帯状疱疹後神経痛(PHN) 一番の問題が、皮膚が良くなった後も帯状疱疹後神経痛といつて痛みが残る事があるという事です。帯状疱疹後神経痛は、帯状疱疹の合併症としては、最も頻度が高く3ヶ月後で約20%、6ヶ月後に約10%も合併するというデータもあります。

何故かかるのか？と尋ねると、ウイルスは、知覚神経節に潜伏しており、神経を傷つけるからと言われています。治療は、通常の痛み止めというよりも神経に効く痛み止めや神経ブロックという注射になります。副作用も強く、

副作用も強く、事があり、治療が難しい病気であり、1年以上苦しんでいる患者さんもいます。帯状疱疹にかからないのが一番良いですが、年齢とともに免疫が低下して、50歳を超えると発症率が高くなり、80歳までに3人に1人は発症するといわれています。そのため、ワクチンが大事になってきます。年齢を重ねるといつても痛みが残り、



帯状疱疹後神経痛(PHN) 一番の問題が、皮膚が良くなった後も帯状疱疹後神経痛といつて痛みが残る事があるという事です。帯状疱疹後神経痛は、帯状疱疹の合併症としては、最も頻度が高く3ヶ月後で約20%、6ヶ月後に約10%も合併するというデータもあります。

帯状疱疹予防ワクチン 帯状疱疹予防のワクチンは、『生ワクチン』と『不活化ワクチン』の2種類のワクチンがあります。◎生ワクチンは、1回で済み、費用は、9千円前後と安く、副作用も注射をうった部位の腫れは半分くらいの方にですが、全身の副反応はあまりありません。ただし、効果は、1回の接種で5年間約50%です。また、免疫が低下している人や免疫抑制剤/ステロイド

帯状疱疹予防のワクチン 帯状疱疹予防のワクチンは、『生ワクチン』と『不活化ワクチン』の2種類のワクチンがあります。◎生ワクチンは、1回で済み、費用は、9千円前後と安く、副作用も注射をうった部位の腫れは半分くらいの方にですが、全身の副反応はあまりありません。ただし、効果は、1回の接種で5年間約50%です。また、免疫が低下している人や免疫抑制剤/ステロイド

### 帯状疱疹ワクチンの比較

	帯状疱疹ワクチン (シングリックス筋注用)	乾燥弱毒生水痘ワクチン (ピケン)
ワクチンの種類	不活化ワクチン	生ワクチン
接種回数	2回 (基本2ヶ月あける。1~2ヶ月)	1回
価格	1回 20,000円~25,000円	1回 7,000円~8,000円
投与方法	筋肉注射	皮下注射
予防効果	約90%以上	約50~60%
効果持続期間	10年以上	5年程度
副反応	注射部位の痛み・腫れ 倦怠感、頭痛、発熱など やや副反応が強い 症状は、3日~1週間以内	注射部位の痛み・腫れ 倦怠感など 症状は、3日~1週間以内
利点	・予防効果が高い。 ・持続期間が長い。	・価格が安い。 ・1回で済む。 ・副反応が少ない。
欠点	・2回接種が必要。 ・価格が高い。 ・皮下注に比べて、注射部位の痛みや腫れが強い。	・免疫が低下している方などには接種出来ない。 ・予防効果が高くない。 (年齢とともに効果が下がる) ・持続期間が短い。

ドナの薬を内服している人は接種出来ません ◎不活化ワクチンは、1回2万円~2万5千円と生ワクチンと比べると費用が高く、2回打たないといけないので総額4万円~5万円となります。 また、副反応が、強くでてしまう点です。 接種部位の痛みが、78% くらいです。他に全身の副

反応として40%くらいの人に筋肉痛・疲労感、30%くらいの人に頭痛、20%くらいの人に悪寒・発熱がでます。ただし、効果は、10年以上89%くらいの効果が認められます。 また、免疫が低下している人や免疫抑制剤/ステロイドドナの薬を内服している人でも、不活化ワクチンの場合には接種出来ません。